

科目名称	精神看護学実習	学年学期	単位数	時間数
		3 学年 全期	2	90
担当教員	石崎 孝太郎	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

精神疾患・精神症状をもつ全てのライフステージにある人とその家族を理解し、科学的根拠に基づいた看護実践ができる能力を養う。また、対象との関わりの中から自己の振り返りを行い、コミュニケーション能力を養う。

【2】 学習目標

1. 精神障害をもちながら生活する人の日常生活を理解できる。
2. 科学的根拠に基づく援助計画の立案と看護実践ができる。
3. 患者－看護師(学生)関係の成立と発展の過程について振り返り、看護師としての人間関係を形成するコミュニケーション能力を学習できる。
4. 精神保健医療福祉における専門職種間との連携・協働の必要性および看護の役割が説明できる。
5. 精神科医療における倫理的課題に関する考えを深めることができる。
6. 看護者の倫理綱領および本校の倫理綱領に基づいて行動できる。

【3】 第2看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
実習前	<ul style="list-style-type: none"> ・実習直前にオリエンテーションを受け、実習目的・目標を確認し、自己の目標・課題を明確にする。 ・病院で現地オリエンテーションを受け、各病棟を見学し概要を把握する。 	オリエンテーション
実習1週目	<ul style="list-style-type: none"> ・初日に病棟オリエンテーションを受ける。 ・担当患者の発病までの経過、生育歴や家族背景、精神症状、治療の概要、セルフケアレベル、疾患や入院に対する患者の思い等を情報収集する。 ・情報を整理し、アセスメントを行い、対象者の病像・人間像・生活像を統合して捉える。 	臨地実習
実習2週目	<ul style="list-style-type: none"> ・自己洞察を行いながら、対象との治療的関係を築く。 ・ゴードンの機能的パターンを用いて看護計画を立案し、看護過程を展開する。 ・精神に障害をもちながら生活する人に応じた日常生活の援助方法を学ぶ。 ・精神医療における治療環境と権利擁護の特徴について学ぶ。 ・作業療法、認知行動療法、社会生活技能訓練(SST)に患者とともに参加し、患者の健康な部分やストレングスを見出して看護に反映する。 	
実習3週目	<ul style="list-style-type: none"> ・対象と治療的関係を終結することができる。 ・精神障害者を取り巻く社会資源と支援者の関係の実際を知り、地域連携の方法について学ぶ。 ・多職種との協働における看護師の役割の実際を知る。 ・実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。 	

【5】 評価方法

・精神看護学実習の到達度基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員(臨地実習指導者所見含む)で評価を行い、60点以上を合格とする。

【6】 教科書

武井麻子:系統看護学講座 専門分野 精神看護学(1) 精神看護の基礎 (第6版) 医学書院 2026 (電子版)
武井麻子:系統看護学講座 専門分野 精神看護学(2) 精神看護の展開 (第6版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書
なし

【8】 受講生へのメッセージ